

Characters of Local Governments as Predictors for Improving the HPV Vaccination Rate in Japan

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-10-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 高橋, 伸子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032521

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 3042 号	氏 名	高橋 伸子
審 査 委 員 会	主 査 教 授	松岡 雅人	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>本研究は、我が国の公費助成によるヒトパピローマウイルス (HPV) ワクチン接種率に影響する地域自治体の特性を明らかにすることを目的とした。無作為抽出した 500 自治体に質問票を送付し、最終的に 150 自治体の 2012 年度中学 1 年生の HPV ワクチン接種率を中央値で 2 群に分割したものを目的変数、自治体特性 29 項目を説明変数とし、単変量・多変量回帰分析を行い、赤池情報量基準を算出することにより説明変数の有効度 (関連性) を評価した。その結果、単変量解析では、ワクチン接種率に対して、幼稚園数、人口および世帯数が負の相関を、国庫支出金および高齢者割合が正の相関を示した。多変量解析では、幼稚園数と世帯数の組合せが最も高い有効度を示す自治体特性となった。</p> <p>本論文は、国や自治体が HPV ワクチンに限らず様々な予防接種事業を効果的に推し進めていくうえで有用な知見を示しており、公衆衛生学的に意義ある研究成果と評価される。</p>			